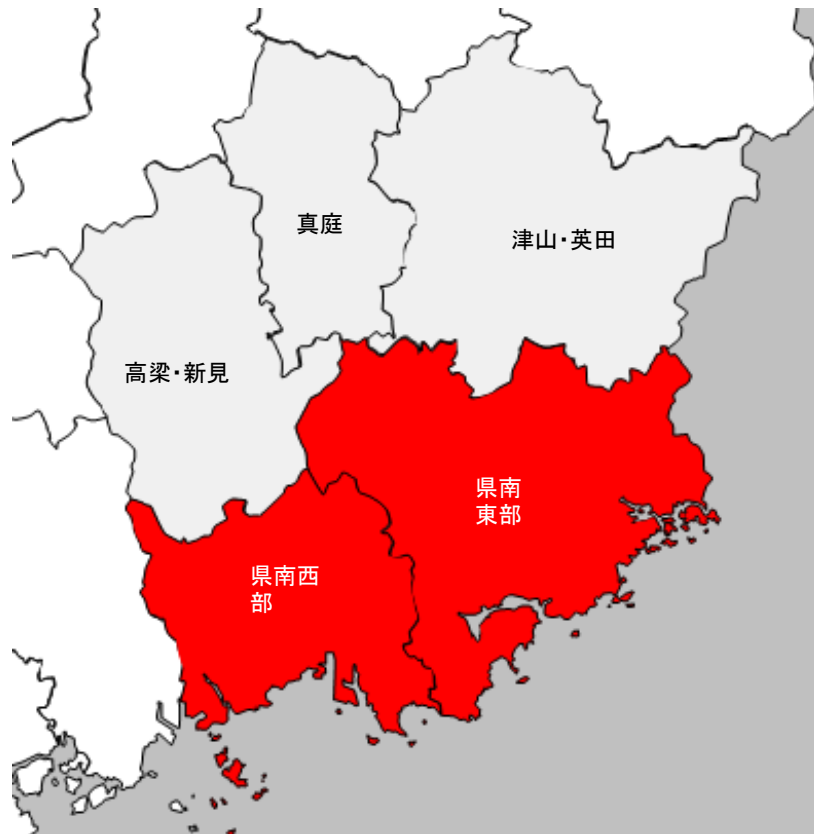


# 33. 岡山県



## 3 3 岡山県

## A. 医療提供体制の現状

岡山県の特徴は、(1) 人口当たりの潤沢な医療資源、(2) 沿岸部への医療資源の集中、山間部の医療過疎である。

## (1) 人口当たりの潤沢な医療資源

全県を通しての偏差値が病床数(56)、一般病床が(61)、病院勤務医(55)、全身麻酔数(54)、看護師数(57)と、高水準である。

## (2) 沿岸部への医療資源の集中、山間部の医療過疎

医学部のある県南東部(岡山)、県南西部(倉敷)は、一般病床、病院勤務医、全身麻酔数、看護師数ともに55を超え高水準であり、日本を代表する医療の充実した地域の一つであり、同時に過剰感も強い。

一方、山間部の高梁・新見、真庭、津山・英田は、病床数と看護師数は全国平均を超えるが、病院勤務医と全身麻酔が少ない。真庭、津山・英田は県南東部(岡山)への、高梁・新見は、県南東部(岡山)、県南西部(倉敷)への依存度が高い。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (県南東部)

県南東部(岡山)には、岡山大学があり、一般病床が(66)、病院勤務医(56)、全身麻酔数(57)、看護師数(58)と、高レベルの医療提供体制であり、現在でも過剰感が強い。真庭、津山・英田、高梁・新見などの岡山県山間部から、多くの患者が集まってくる。現在の岡山県全体と県南東部(岡山)の医療資源供給レベルの高さと、2010→35年の県南東部の0-64歳の医療需要が20%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。

医師養成数の適正化と県南東部で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。また、県南東部の75歳以上医療需要の54%増が予想されるため、高齢者用の施設や住宅の増強、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

## (県南西部)

県南西部(倉敷)には、川崎医科大学と大学病院に匹敵する規模を誇る倉敷中央病院があり、一般病床が(58)、病院勤務医(60)、全身麻酔数(57)、看護師数(56)と、高

レベルの医療提供体制である。高梁・新見や広島県東部から、多くの患者が集まってくるが、現在でも過剰感が強い。現在の岡山県全体と県南西部（倉敷）の医療資源供給レベルの高さと、2010→35年の県南西部の0-64歳の医療需要が24%減を考えると、県南東部以上に急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。

医師養成数の適正化と県南西部で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。また、県南西部の75歳以上医療需要の50%増が予想されるため、高齢者用の施設や住宅の増強、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

### （高梁・新見、真庭）

岡山県西部の山中に広がる高梁・新見と真庭の偏差値は、一般病床が（52）と（67）、病院勤務医（40）と（43）、全身麻酔数（33）と（36）、看護師数（50）と（61）と、一般病床数と看護師数が多く、病院勤務医数と全身麻酔数が少ない過疎型地域に多いパターンである。高梁・新見は県南西部と県南東部への、真庭は県南東部への依存度が高い。2010→35年の0-64歳の医療需要が37%減、43%減、75歳以上の医療需要が11%減、1%減することを考えると、地域内の医療機関の集約と地域内ネットワークの強化が必要があるだろう。また県南部からの支援の強化や、ドクターヘリを含む県南部との連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

### （津山・英田）

岡山県東部の津山盆地を中心に広がる津山・英田は、一般病床が（46）、病院勤務医（44）、全身麻酔数（43）、看護師数（52）と、山間部の過疎地としては、比較的高い水準の医療資源レベルである。2010→35年の医療の総需要が12%減、0-64歳が31%減、75歳以上が8%増である。また県南東部からの支援の強化やドクターヘリを含む県南東部との連携の強化も必要である。

表 33-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
岡山県	1,945,276	21位	7,106	17位	273.7		25%	-14%	41%
県南東部	921,716	47%	1,900	27%	485.2	地方都市型	23%	-10%	54%
県南西部	714,202	37%	1,123	16%	636.0	地方都市型	24%	-14%	50%
高梁・新見	68,833	4%	1,340	19%	51.4	過疎型	35%	-32%	-11%
真庭	49,921	3%	896	13%	55.7	過疎型	34%	-33%	-1%
津山・英田	190,604	10%	1,848	26%	103.2	過疎型	29%	-23%	8%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012  
 (A. 「医療提供体制の現状」、表33-1、表33-2、表33-5、図33-4)  
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3  
 (図1-5)

図 33-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

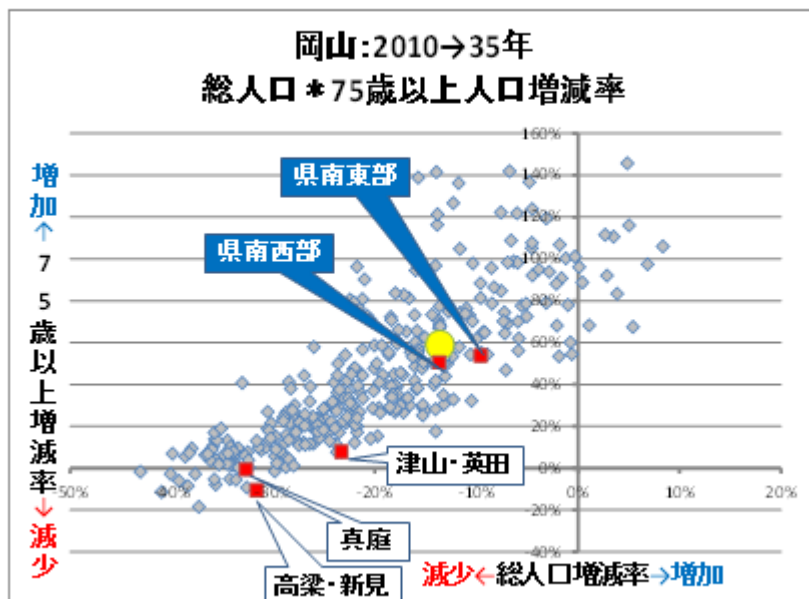


表 33-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
岡山県	31,411	1.9%	1,615	56	19,088	2.1%	981	61	26,765	2.0%	107	56
県南東部	15,935	51%	1,729	58	10,252	54%	1,112	66	12,343	46%	115	59
県南西部	10,616	34%	1,486	54	6,558	34%	918	58	9,030	34%	106	55
高梁・新見	1,117	4%	1,623	56	520	3%	755	52	1,192	4%	80	43
真庭	1,048	3%	2,099	66	564	3%	1,130	67	834	3%	82	43
津山・英田	2,695	9%	1,414	52	1,194	6%	626	46	3,366	13%	105	55

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 33-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

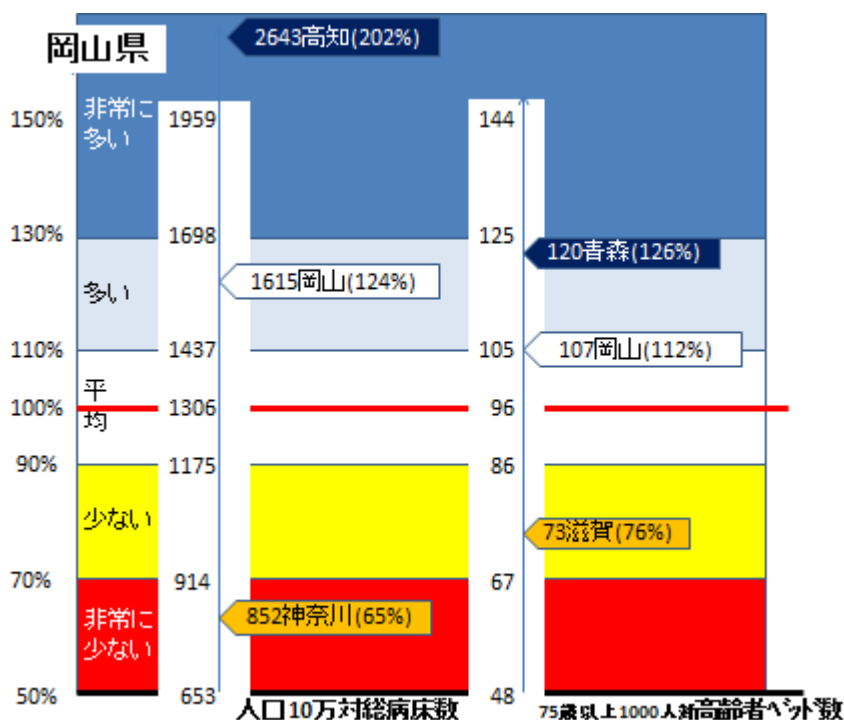


表 33-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
岡山県	5,053	1.5%	260	50	1,069	1.7%	55	52	5,894	1.7%	303	51
県南東部	1,776	35%	193	47	429	40%	47	50	3,376	57%	366	54
県南西部	1,976	39%	277	51	507	47%	71	55	1,428	24%	200	47
高梁・新見	336	7%	488	61		0%	0	39	261	4%	379	55
真庭	264	5%	529	63		0%	0	39	200	3%	401	56
津山・英田	701	14%	368	55	133	12%	70	55	629	11%	330	53

表 33-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
岡山県	3	1.5%	1.5	50	7	1.9%	3.6	52	1,693	1.9%	87	55
県南東部	1	33%	1.1	48	4	57%	4.3	54	783	46%	85	54
県南西部	1	33%	1.4	49	2	29%	2.8	50	706	42%	99	58
高梁・新見	0	0%	0	43	0	0%	0	42	42	2%	60	48
真庭	0	0%	0	43	0	0%	0	42	32	2%	65	49
津山・英田	1	33%	5.2	65	1	14%	5.2	56	130	8%	68	50

表 33-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
岡山県	2,938	1.9%	151	55	15,679	1.9%	806	57	33,480	1.9%	1,721	54
県南東部	1,408	48%	153	56	7,720	49%	838	58	18,012	54%	1,954	57
県南西部	1,262	43%	177	60	5,704	36%	799	56	13,722	41%	1,921	57
高梁・新見	49	2%	71	40	459	3%	667	50	24	0%	35	33
真庭	44	1%	88	43	450	3%	902	61	156	0%	312	36
津山・英田	175	6%	92	44	1,345	9%	706	52	1,566	5%	822	43

図 33-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

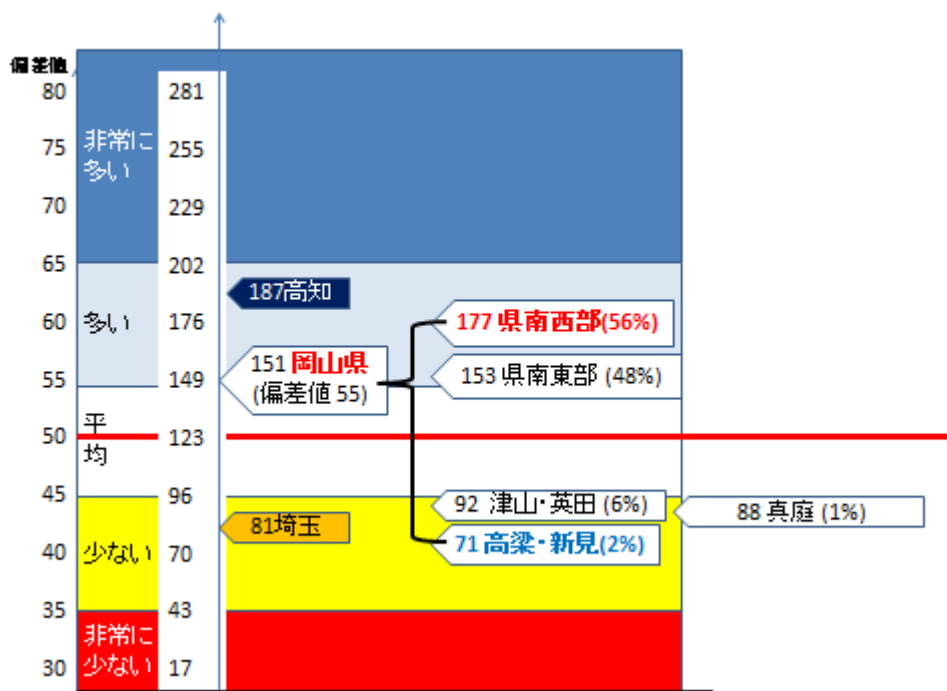


図 33-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

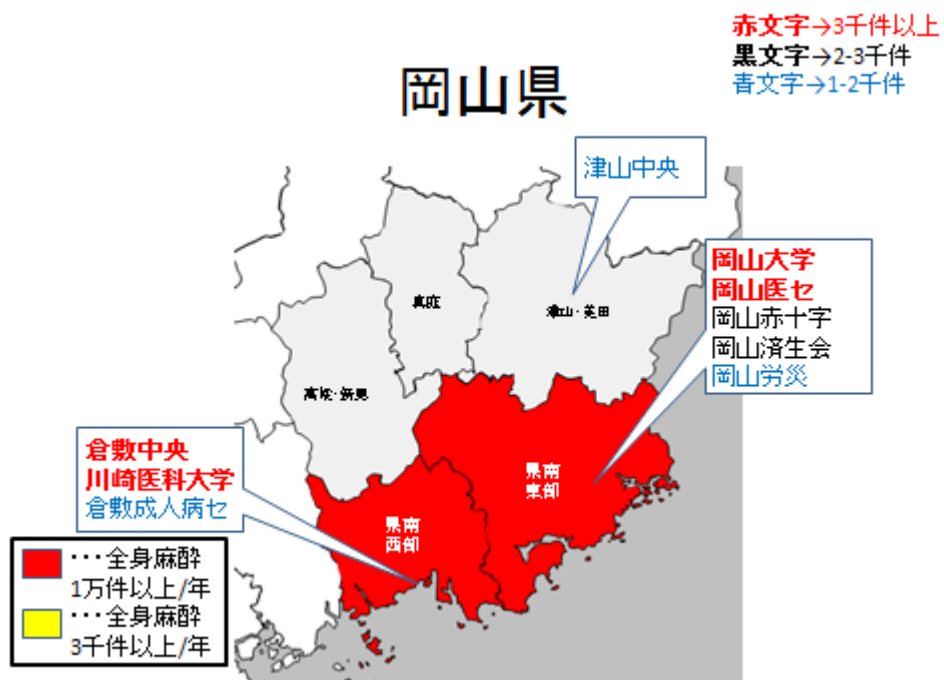


図 33-5 二次医療圏（流入出）

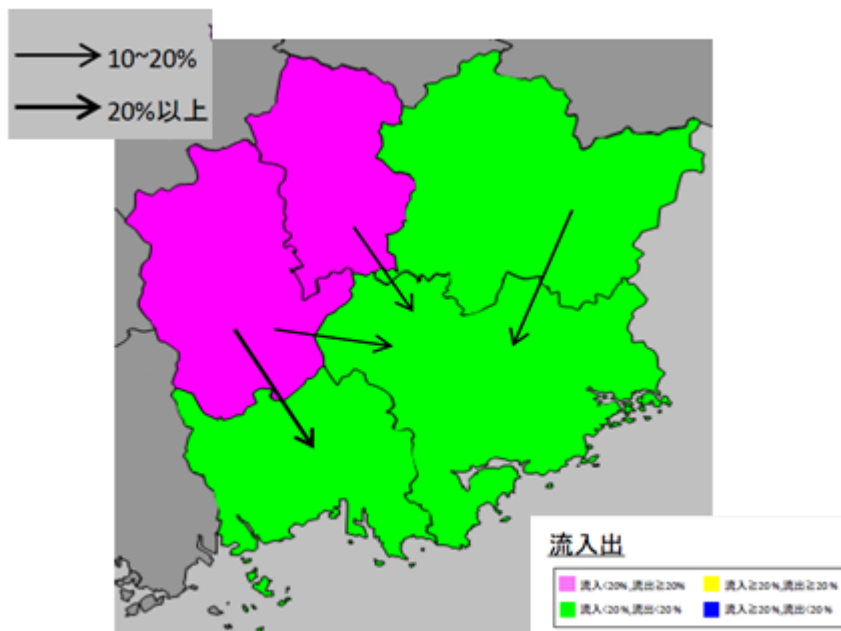


表 33-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
岡山県	13,129	1.9%	53	52	5,661	1.8%	23	51	7,468	1.9%	30	52
県南東部	5,805	44%	54	53	2,497	44%	23	52	3,308	44%	31	53
県南西部	4,336	33%	51	51	2,060	36%	24	54	2,276	30%	27	49
高梁・新見	730	6%	49	49	320	6%	22	49	410	5%	28	50
真庭	520	4%	51	51	130	2%	13	34	390	5%	38	60
津山・英田	1,738	13%	54	53	654	12%	20	47	1,084	15%	34	56

表 33-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
岡山県	13,636	2.1%	55	55	4,170	1.8%	16.7	50	4,440	2.8%	17.8	61
県南東部	6,538	48%	61	59	2,169	52%	20.2	53	1,991	45%	18.5	62
県南西部	4,694	34%	55	55	1,714	41%	20.1	53	1,518	34%	17.8	61
高梁・新見	462	3%	31	42	20	0%	1.3	36	162	4%	10.9	50
真庭	314	2%	31	42	0	0%	0.0	35	144	3%	14.1	55
津山・英田	1,628	12%	51	53	267	6%	8.3	42	625	14%	19.5	64

表 33-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
岡山県		4%	-24%	-11%	-19%	41%	34%
県南東部	2	10%	-20%	-2%	-14%	54%	46%
県南西部	2	6%	-24%	-13%	-20%	50%	42%
高梁・新見	3	-24%	-37%	-40%	-38%	-11%	-13%
真庭	3	-19%	-43%	-32%	-38%	-1%	-3%
津山・英田	3	-12%	-31%	-23%	-28%	8%	5%



図 33-6 岡山県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

